

大田区の歴史・文化を活かしたまちづくり

大田区では、国指定の重要文化財を有する池上本門寺を核として、区内に点在する歴史・文化資産を維持・向上させ、区内の貴重な歴史的建造物・文化を守り次世代に継承していくために、「東京都内」で初の「大田区歴史的風致維持向上計画」の認定に向けた検討を進めています。

大田区歴史的風致維持向上計画

「歴史的風致維持向上計画」 策定の背景と目的

大田区は、古くから水と緑に恵まれた自然環境のもとで人々の暮らしが営まれてきた地域です。古代には農耕文化が栄え、中世以降は宿場町や社寺を中心に発展し、近代には羽田空港をはじめとする交通の要衝として、また、蒲田を中心とする工業のまちとして日本の近代化を支えてきました。こうした歴史の積み重ねのなかで、区内各地には由緒ある神社仏閣や町工場、旧家等が点在し、地域に根差した伝統行事や祭礼も今なお受け継がれています。しかしながら、近年の都市化の進展や住民構成の変化、伝統行事の担い手不足等の課題により、貴重な歴史・文化資源が徐々に失われつつあるのが実情です。こうした状況のなか、大田区で

はこれまでも景観計画の策定や歴史資産の調査、文化財の保存・活用、区民主体のまちづくり活動の支援等を通じて、歴史と文化の継承に努めてきました。今後はさらに一体的かつ戦略的な取組を進めていくため、大田区内の地域特性を活かしながら、歴史的風致を維持・向上させ、次世代へと継承するための仕組みを構築することを目的として、「大田区歴史的風致維持向上計画」を策定しました。

歴史・文化をめぐる、訪れたいくなる、ウォーカブルなまちをめざして

「大田区歴史的風致維持向上計画」（令和8年度から17年度までの10か年計画）では、5つの基本理念を基に歴史まちづくりを進めていきます。



大田区の歴史を活かしたまちづくり

大田区の維持及び向上すべき7つの歴史的風致

(1) 日蓮信仰にみる歴史的風致

池上地域は鎌倉時代の高僧日蓮入滅の霊蹟である池上本門寺を中心とする文化が育ち、池上駅からの参道には寺院や茶屋寺が建ち並びます。この地域には、毎年10月13日の日蓮の命日の2日前から開催される「御会式」があります。鎌倉時代から続く秋の風物詩として名高く、毎年約3000人が桜花の万灯を掲げて練り歩きます。歴史的建造物は、池上本門寺大堂（祖師堂）、本門寺五重塔（重文）、池上本門寺宝塔（重文）、日蓮宗本山大坊本行寺、善慶寺本堂、養源寺本堂、他8寺院があります。

※重文：「重要文化財」の略称。



(1)池上本門寺御会式（万灯練供養）

(2) 四季を彩る伝統文化に みる歴史的風致

「四季を彩る伝統文化にみる歴史的風致」は、大田区の歴史と文化を象徴する伝統行事や祭礼の中から、特に代表的な8つで構成しています。

① 禰宜の舞にみる歴史的風致 禰宜の舞は江戸時代中期から続く厄払いと豊作祈願のために奉納される伝統行事として、区内では唯一、天祖神社（西嶺町）に継承されています。注連縄を張った場で5種の面の舞人が太鼓に合わせて舞い、湯立て儀式や祭礼の祈りを行うとともに古式を伝えています。

② 子どもガーデンパーティーにみる歴史的風致 子どもを中心とした世代間交流の促進等を目的に、昭和25（1950）年に開始した本門寺公園や洗足池公園等で地域団体が協働運営する催しで

す。多摩川や池上の自然を背景に、歴史・自然・人の営みが調和し世代を超えて受け継がれています。

③ 水神祭にみる歴史的風致 羽田の水神社に伝わる水神祭は、江戸時代から続く海上安全・大漁祈願の祭礼です。例大祭には神職が船上で祝詞を上げ、祈願札を多摩川河口の通称「お神酒上げ棒」に括り付ける等、地域に根ざした羽田の伝統文化を今に伝えています。

④ 子ども神獅子舞にみる歴史的風致 六郷神社の大祭で奉納される子ども神獅子舞は、こどもたちが雄雌の獅子を舞う区指定の無形民俗文化財です。辻舞いや巡行では囃子と太鼓が響き、鮮やかな装束が街を彩ります。保存会と小学校が担い手育成を通じ、地域の誇りを伝える文化継承の仕組みを構築しています。

⑤ 水止舞にみる歴史的風致 厳正寺の

水止舞は、700年以上続く雨乞いと水止めの祈りを併せた伝統行事で、都指定の無形民俗文化財です。藁の龍神の道行に続き、境内で獅子が舞い、水しぶきと笛太鼓が響く光景が地域の信仰と生業の知恵を今に伝えていきます。

⑥ 双盤念仏にみる歴史的風致 今泉延命寺の双盤念仏は、鉦と太鼓で阿弥陀名号を唱える400年以上続く行事で、都指定の無形民俗文化財です。街の静寂に響き、住民の結束と精神文化を象徴しています。都市空間に歴史と祈りの記憶を刻んでいます。

⑦ 義民六人衆報恩感謝祭にみる歴史的風致 善慶寺の義民六人衆報恩感謝祭は、延宝5（1677）年に村の救済を訴えて命を落とした6人の農民を偲ぶ行事で、毎年2月の法要等と5年ごとに特別な催しが行われます。墓前で

住民達が自己犠牲と共同体精神という

価値観を継承する姿が、地域社会の絆を育んでいます。

⑧ 子ども流鏝馬にみる歴史的風致 六郷神社の子ども流鏝馬は、男子の開運・健康・出生を祈る都指定の無形民俗文化財です。小笠原流の射手装束姿の男児が鬼の目玉の八方白眼の的へ矢を放つ、伝統光景が地域の人々に受け継がれています。



① 禰宜の舞



② 第68回子どもガーデンパーティー(本門寺公園)



③ 水神祭



④ 子ども神獅子舞



⑤ 水止舞(道行)



⑥ 双盤念仏



⑦ 義民六人衆報恩感謝祭



⑧ 子ども流鏝馬

(3) 銭湯文化にみる 歴史的風致

大田区は23区最多の銭湯を擁し、天然温泉「黒湯」を特色とする銭湯文化が根付いています。江戸時代には潮を浴びる漁師のための湯屋として、近代以降は町工場の工員らの憩いの場として栄え、地域コミュニティを支える空間となりました。宮造りの意匠を残す銭湯やサウナを取り入れる銭湯等、現代に根付く銭湯文化を受け継いでいます。



(3)銭湯 (明神湯)



(4)洗足池



(5)大森貝塚碑



(6)大森海苔会館での入札会の様子



(7)旧川端龍子邸 (主屋) の外観

(4) 洗足池の景観保全に みる歴史的風致

日蓮が池畔で手足を洗ったという伝

(5) 大森貝塚にみる 歴史的風致

承に由来する名を持つ洗足池は、江戸時代から景勝地として知られ、初代歌川広重の浮世絵や川瀬巴水の版画にも描かれました。池の周囲にある妙福寺祖師堂(国の登録有形文化財)、池月橋、千束八幡神社、弁天島等の歴史・文化資源と(公社)洗足風致協会等における保全活動が、水と緑豊かな景観を守り、季節の移ろいと安らぎを与える都会のオアシスとなっています。

大森貝塚は明治10(1877)年に米国の動物学者エドワード・S・モース博士によって発見された縄文時代後期から晩期の遺跡で、「日本考古学発

(6) 海苔のふるさとにみる 歴史的風致

江戸時代から海苔の名産地として栄え、200年以上続いた海苔養殖は漁業権の放棄によって昭和38(1963)年に幕を下ろしました。しかし、重要有形民俗文化財の海苔生産用具の保存・展示、大森海苔会館での入札、問屋の商いと冬の新海苔入荷の賑わい

が共存する場となっています。

(7) 馬込文士村にみる 歴史的風致

大正末期から昭和初期にかけて、馬込・山王・中央周辺地域には尾崎士郎、宇野千代、川端康成等が暮らし「馬込文士村」を築きました。現在でも日本画の巨匠・川端龍子の旧宅と画室が現存しているほか、龍子記念館、尾崎士郎記念館、書道家の熊谷恒子記念館等

があり、案内板の設置、散策マップの作成、ガイドの会等地域の取組が文士の痕跡と文化的風情を今に伝えています。

方針と事業名	
(1)歴史的建造物や伝統行事等活動の認知度の向上	(4)人々の歴史や伝統を反映した活動の継承と活性化
01. 海苔づくりの歴史及び技術に関する伝統継承事業	01. 公衆浴場施設改善助成
02. 旧清明文庫の保存・活用及び勝海舟の功績、地域の歴史等の資料の調査及び研究事業	02. 公衆浴場事業助成
03. はしご乗りと池上七福神めぐり事業	03. 銭湯・温泉文化に関する魅力の再発見・発信事業
(2)歴史的建造物の保存・活用の推進	(5)歴史・文化（歴史的風致）を活かした地域活性化
01. 龍子記念館・旧川端龍子邸保存活用計画策定事業	01. A Rを活用した馬込文士村の魅力発信事業
02. 大田区文化財保護条例に基づく事業	02. 馬込文士村におけるサイン整備
03. 大田区文化財補助金交付要綱に基づく保存修理事業	03. 馬込文士村を活用した事業
04. 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の発掘調査と記録保存	04. ガイドブックの作成等による文化財普及啓発事業
(3)歴史的建造物の周辺環境の保全と向上	05. 『大田区歴史散策ガイドブック』作成及び頒布事業
01. 霊山橋ほか1橋長寿命化修繕工事	06. 自然観察路「池のみち」案内板等整備事業
02. 主要23号線整備工事（池上新参道無電柱化及び街路灯設置）	07. 旧東海道でつながるまち事業（隣接自治体との連携事業）
03. 名勝洗足池公園保存活用計画の推進	08. 馬込文士村関連事業
04. 大田区パークマネジメントマスタープランに基づく歴史・文化の保存・活用	09. 特集記事作成（馬池洗含む）

歴史を紡ぎ、未来へはばたくまちを目指して

大田区は、羽田空港を擁する交通の要衝として、また蒲田を中心とする工業のまちとして発展してきました。池上本門寺などの歴史的建造物、日本考古学発祥の地である大森貝塚、亀甲山古墳などの貴重な考古遺跡、水止舞や双盤念仏といった伝統行事等、数多くの歴史・文化資源が現在まで大切に受け継がれています。

地域の活動と歴史的建造物が一体となって形成してきた「歴史的風致」を次世代へ継承するため、東京都で初となる「大田区歴史的風致維持向上計画」を策定しました。本計画は今後も、区民の皆様からの情報や文献等を踏まえ、継続的に内容の充実と更新を図ってまいります。

本計画の策定は、大田区が歩んできた歴史の重みと、それを守り続けてきた区民の皆様方の努力を未来へつなぐ重要な一歩です。本計画の副題「歴史を紡ぎ、未来へはばたくまち 大田区」には、歴史・文化を継承し、未来へと発展させる決意が込められています。

今後は、歴史的風致の維持・向上とシビックプライドの醸成、地域の活力向上を図り、「歴史・文化をめぐり、訪れたい、ウォークアブルなまち」の形成を推進してまいります。



大田区長

鈴木晶雅